

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		ごみ減量運動		款	6	項	1	目	3	事業	2	整理番号	460						
担当部課名		環境清掃部清掃管理課		係名	管理係			連絡先電話番号	3723		昨年度整理番号	457							
上位施策No・施策名		17 ごみの発生抑制及びリサイクルの推進		予算事業区分								既定事業							
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	13	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	1	政策番号	3	施策番号	1,2	事業コード	1,2,7	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input type="checkbox"/>	主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 区民・事業者・産業団体等			根拠法令等		(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (2) 循環型社会形成推進基本法												
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○啓発活動を通して、区民のごみ減量への意識を高める。 ○ごみの発生抑制や再利用、再生利用の手法により、ごみ減量を実現する。			活動指標名(式)		(1) パンフレット、チラシ及びポスター延べ配布部数 (2) 「ごみパックン」年間配布部数												
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○ごみ減量を推進するため、「マイバッグ推進連絡会」や「中学生環境サミット」等を開催し、啓発活動を行う。 ○各種啓発紙を発行・配布する。			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標												
				成果指標名(1)		ごみ量削減率													
				算定式・指標の説明等		今年度家庭ごみ量÷前年度家庭ごみ量×100(%)													
				成果指標名(2)		リサイクル率													
				算定式・指標の説明等		[(区資源回収量+集団回収量)÷(家庭ごみ量+区資源回収量+集団回収量)]×100(%)													
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %								
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画											
指標	活動指標(1)	①	枚	1,103,200	684,600	621,700	849,000	602,731	606,340	71.0									
	活動指標(2)	②	枚	126,000	126,000	126,000	120,000	120,000	120,000	100.0									
	成果指標(1)	③	%	92	95	98	77	99	73	128.6									
	成果指標(2)	④	%	25.9	35.0	26.6	44.0	26.6	47	60.5									
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	34,588	37,172	26,222	29,082	23,326	21,360	22年度予算執行率%		80.2							
	(内) 投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項									
	(内) 委託費	⑦	千円	10,102	12,994	9,127	9,379	6,837	7,127										
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	2.64 0.00	2.35 0.00	5.40 0.20	4.78 0.20	5.51 0.20	3.30 0.60										
	人件費	(内) 常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	23,892	20,866	47,947	42,638	49,149					29,436					
		(内) 非常勤職員分	⑩	千円	0	0	559	590	590					1,770					
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	58,480	58,038	74,728	72,310	73,065	52,566										
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	53	85	120	85	121	87										
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0					0					
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0					0					
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0					0					
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	1,500	1,500					0					
		特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑰	千円	0	0	0	1,500	1,500					0					
差引: 一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	58,480	58,038	74,728	70,810	71,565	52,566										
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0											

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 460

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
		清掃情報誌(「ごみパックン」等啓発用冊子)の発行	141,000	部	4,768
	ごみ・資源の収集カレンダーの発行	425,231	部	12,257	
	マイバッグ運動の推進			3,792	
	中学生環境サミットの開催	230	人	1,044	
	その他(「過剰包装の抑制」ほか)			1,465	
	(2) 事業実績	清掃情報誌「ごみパックン」を6回発行し、町会、スーパー等に配布しました。また、新たに「ごみパックン中学生版」を作成し、区内公立中学校全生徒に配布しました。 「ごみ・資源の収集カレンダー」は、区民の意見募集を行い、内容を精査して全世界帯に配布しました。 マイバッグ推進連絡会を6回、キャンペーンを6回実施しました。 「ごみ会議」は、平成22年度から「中学生環境サミット」として内容の充実を図りました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会]	(4) 協働等の今後のあり方 推進	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	杉並区ごみ量の推移(単位:トン)。 平成13年度:135,497、平成18年度:125,419、平成19年度:120,598、平成20年度:110,928、平成21年度:109,193、平成22年度:107,790
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	平成20年4月からごみ・資源の分け方・出し方を変更しましたが、当初は複雑でわかりにくいという意見が多数寄せられました。分かりやすく、使いやすい「ごみ・資源の収集カレンダー」を作成し周知することにより、現在は区民に浸透してきています。 マイバッグ推進連絡会参加団体(学校)による自主的な活動や「中学生環境サミット」の参加者からは意識が高まったとの意見が寄せられています。
	今後の予測	更なるごみの減量を行うためには、啓発活動について、なお一層の工夫と改善策が必要です。
	評価と課題	「ごみ・資源の収集カレンダー」の作成にあたって、平成22年度から区民の意見募集を行い、区民の意見を反映したカレンダーにすることができました。清掃情報誌「ごみパックン」は、ごみの減量に関心が持てるようにイラストやデータを挿入するなど、分かりやすく、楽しめる情報誌として好評です。新たに作成した「ごみパックン中学生版」も大変好評でした。 今後も、ごみ減量の意義や分別の必要性を、あらゆる機会を活用し、区民及び事業者へPRしていきます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input checked="" type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更
	あらゆる機会を通して、地道にごみの減量を区民、事業者へ呼びかけていきます。 また、「ごみ・資源の収集カレンダー」について、今後も区民の意見を反映させて、収集日や分別方法等をさらに詳しくわかりやすい内容に改めていきます。		

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		資源の回収			款	6	項	1	目	3	事業	5	整理番号	463					
担当部課名		環境清掃部清掃管理課・杉並清掃事務所			係名	清掃事業推進係			連絡先電話番号	3725		昨年度整理番号	460						
上位施策No・施策名		17 ごみの発生抑制及びリサイクルの推進			予算事業区分								既定事業						
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	11	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	1	政策番号	3	施策番号	1	事業コード	3	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input checked="" type="checkbox"/>	主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/>	個人	<input checked="" type="checkbox"/>	世帯	<input checked="" type="checkbox"/>	団体	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>	内部管理	根拠法令等 (1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例							
	資源の排出者																		
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	活動指標名(式) (1) 資源の回収量(行政回収分) (2)																	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	成果指標 ※(代)＝適当な指標がない場合の代替指標																		
○ごみ集積所に出された資源(古紙・びん・缶・ペットボトル・プラスチック製容器包装)を回収し中間処理施設に搬入する。中間処理施設で選別梱包した後、再資源化施設に引き渡し、再商品化する。		成果指標名(1)		(代)リサイクル率															
		算定式・指標の説明等		[(区資源回収量+集団回収量)÷(家庭ごみ量+区資源回収量+集団回収量)]×100(%)															
		成果指標名(2)		(代)資源の回収コスト															
		算定式・指標の説明等		資源回収コスト(事業費)÷資源回収量(区回収分)															
区分	単位	20年度		21年度		22年度		23年度計画	計画(目標値)に対する22年度の達成率 %										
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績													
指標	活動指標(1)	①	t	32,381	45,512	33,181	51,677	32,642	53,233	63.2									
	活動指標(2)	②																	
	成果指標(1)	③	%	25.9	35.0	26.6	44.0	26.6	47.0	60.5									
	成果指標(2)	④	円/t	65,268	62,708	62,693	40,639	61,361	37,899	66.2									
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	2,113,447	2,162,494	2,080,222	2,070,121	2,002,948	2,017,459	22年度予算執行率%	96.8								
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項									
	(内)委託費	⑦	千円	2,061,755	2,142,596	2,064,080	2,056,691	1,990,081	2,004,190										
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	30.43	0.00	29.53	3.00	31.54	2.80	28.66	3.80	30.75	3.84	26.92	1.00				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	275,392	262,197	280,044	255,647	274,290	240,126	成果指標(1)については、現一般廃棄物処理基本計画に基づいて算出しました。								
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	8,379	7,820	11,210	11,328	2,950									
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	2,388,839	2,433,070	2,368,086	2,336,978	2,288,566	2,260,535										
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	73,773	53,460	71,369	45,223	70,111	42,465										
	財源	受益者負担分	⑬	千円	307,942	121,031	133,082	123,384	206,022	204,540									
		国からの補助金等	⑭	千円	23,738	0	30,995	0	50,012	35,000									
		都からの補助金等	⑮	千円	52,219	0	51,508	0	47,711	0									
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0	0									
		特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑰	千円	383,899	121,031	215,585	123,384	303,745	239,540									
差引:一般財源⑰-⑬		⑱	千円	2,004,940	2,312,039	2,152,501	2,213,594	1,984,821	2,020,995										
受益者負担比率⑬÷⑪		%	12.9	5.0	5.6	5.3	9.0	9.0											

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 463

22年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
				古紙・びん・缶の回収業務委託	27,000
		ペットボトルの回収業務委託	27,300	箇所	375,772
		プラスチック製容器包装回収事業	27,000	箇所	354,735
		中間処理委託(回収した資源の中から異物を取り除き、圧縮・梱包する)	5	種別	598,120
		その他(消耗品 ほか)			23,250
	(2)事業実績	古紙・びん・缶・ペットボトル・プラスチック製容器包装を全集積所で回収しています。 また、資源の持ち去り防止対策として、新聞回収袋を区の施設約20箇所に置き区民に提供するとともに、早朝回収及び早朝パトロールを行っています。平成22年度は、資源の持ち去り行為を繰り返す違反者について、刑事告発(11名)、氏名公表(26名)を行いました。			

協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)	
	(3)協働等の形態 委託[業務量の50%以上に相当]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成11年6月からびん・缶・古紙を集積所で回収し、平成12年度の清掃事業の都から区へ移管以降はさらに平成18年10月から雑紙、平成20年4月からペットボトルとプラスチック製容器包装の集積所回収をはじめなど、着実に行政回収が定着しています。 一方、市況によっては、資源が高額で売却できるため、資源の持ち去り行為が起こっています。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	資源の持ち去り行為に対して、さらなる取り締まり強化を要望する声が多く寄せられています。また、集積所で回収するリサイクル品目の増加を求める声や、生ごみのコンポスト化事業に関する問い合わせも多くなります。 また、区立小中学校や区立保育園から生じる食品残渣を、可能な限りリサイクルするよう意見が寄せられています。
	今後の予測	リサイクル率を向上させるためには、さらなる分別の徹底と資源回収品目の拡大が不可欠です。しかし、資源回収品目の増加は、経費の増加も伴うことから費用対効果などを慎重に見極めて実施する必要があります。
	評価と課題	現行の分別方法ではリサイクル率の向上は、限界に近くなっています。リサイクル率を向上させるためには、拡大生産者責任を徹底するとともに、ごみ、資源の分別の徹底を図り、資源回収品目を増やす必要があります。そのため、平成23年1月から化粧品品のびんを新たに資源回収品目に加えました。 資源持ち去りパトロールの実施により、持ち去り行為者の数は約1/3に減少していますが、持ち去り行為を繰り返す常習者や持ち去り行為者に対して車両等を貸し出している間屋などへの対策が必要です。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更 ● 実施方法の変更
	資源回収における、さらなる分別の徹底を図るため、あらゆる媒体を使って、よりわかりやすい分別方法の啓発を充実させます。 なお、資源回収品目の増加については、慎重に検討をしながら進めていく必要があります。 また、若年の単身者世帯や外国籍の世帯などは、区の広報紙などの情報を得ることが少なく、制度自体の認知が低い状況にあります。若年層に支持されている媒体を活用するとともに、ホームページを充実、不動産業者との連携など、幅広い区民に対して積極的に正しい分け方や出し方の情報を提供していきます。 資源持ち去り対策については、執行体制を見直しながら効率的にパトロールを実施していくとともに、早朝回収の強化と集団回収の奨励・支援の充実を図り、資源を持ち去りにくい環境をつくります。 また、プラスチック製容器包装回収は業務委託により、更に効率的な体制を確保します。		

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		リサイクル活動の支援			款	6	項	1	目	3	事業	7	整理番号	465					
担当部課名		環境清掃部清掃管理課			係名	清掃事業推進係			連絡先電話番号	3725			昨年度整理番号	462					
上位施策No・施策名		17 ごみの発生抑制及びリサイクルの推進			予算事業区分									既定事業					
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	4	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	1	政策番号	3	施策番号	1	事業コード	3	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input type="checkbox"/>	主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/>	個人	<input type="checkbox"/>	世帯	<input checked="" type="checkbox"/>	団体	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>	内部管理	根拠法令等 (1) (特非)すぎなみ環境ネットワーク補助金交付要綱 (2) 杉並区集団回収要綱							
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○区民・事業者・行政の協働により、普及啓発や家具のリサイクルや集団回収への取組みを進め、ごみの発生を抑制し、リサイクルの意識を高めます。																	
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○NPO団体に対し補助金を交付する。 ○資源の集団回収団体に対し報奨金を支給する。 ○コンポスト容器購入者に対し補助金を交付する。 ○生ごみ処理機購入者に対し補助金を交付する。																	
活動指標名(式)		(1) 集団回収団体数 (2) コンポスト・生ゴミ処理機購入費補助件数																	
成果指標		※(代)＝適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 集団回収量 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 年間の生ごみ減量 算定式・指標の説明等 0.7kg×365日×コンポスト容器・生ごみ処理機補助累積台数(3年分)																	
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %								
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績	計画									
指標	活動指標(1)	①	件	355	370	380	410	405	450	98.8									
	活動指標(2)	②	件	231	240	179	250	108	250	43.2									
	成果指標(1)	③	kg	6,482,052	12,251,000	6,406,364	14,400,000	6,364,000	14,880,000	44.2									
	成果指標(2)	④	kg	165,564	176,000	160,454	168,630	132,349	137,204	78.5									
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	99,780	106,215	97,690	105,487	96,005	56,459	22年度予算執行率%		91.0							
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項									
	(内)委託費	⑦	千円	16,709	16,945	16,855	17,199	17,128	8,740										
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.50	0.50	0.50	0.20	0.50	0.20	0.50	0.51	0.50	0.00						
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	4,525	4,440	4,440	4,460	4,460	4,460	成果指標(1)については、現一般廃棄物処理基本計画に基づいて算出しました。 23年度から執行項目003杉並環境ネットワーク運営補助及び004リサイクルひろば高井戸維持管理は、事務事業471あんさんぶる荻窪の維持運営経費に移行しました。								
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	1,400	559	559	590	1,505	0									
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	105,705	111,214	102,689	110,537	101,970	60,919										
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	297,761	300,578	270,234	269,602	251,778	135,376										
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0											
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0											
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0											
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0												
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0										
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	105,705	111,214	102,689	110,537	101,970	60,919										
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0											

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 465

22年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		集団回収団体報奨金支払い コンポスト容器購入費助成 生ごみ処理機購入費助成 その他 (すぎなみ環境ネットワーク運営補助ほか)	405	団体	38,219
			60	件	196
			48	件	957
					56,633
	(2)事業実績	集団回収の団体数については増加しましたが、収集量は減少となりました。 また、コンポスト容器購入費助成と生ごみ処理機購入費助成については、計画を下回り過去3年間で一番少ない助成件数でした。			

協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している ▼	(2)協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ) ▼	
	(3)協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] ▼	(4)協働等の今後のあり方 実施継続 ▼	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成16年度にすぎなみ環境ネットワークへの補助金事業、委託事業の見直しを行いました。集団回収量は、平成20年度までは増えていましたが、平成21年度以降減少しています。コンポスト容器補助件数は、平成19・20年度と増加していますが、平成21年度以降は減少しました。生ごみ処理機の補助は平成20年までは常に募集件数を上回っていましたが、平成21年度以降は減少しました。また、平成22年度から生ごみ処理機の申請方法を先着順にしました。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	生ごみ処理機については、補助件数を増やすこと、区内の店舗での購入を義務付けている条件をなくすことなどの要望があります。集団回収については、意見交換会の中で常に支援内容の拡大を求められています。
	今後の予測	家庭用生ごみ処理機については、各メーカーとも様々な機種を販売して、各家庭においても環境に対する配慮と手軽さから購入を検討していると思われます。平成21・22年度の補助件数は減少傾向ですが、今後は平成23年度の財政状況を見ながら、必要性・有効性を見極めつつ補助していきます。集団回収事業については、参加団体数や回収量の増加を図りながら今後も拡大していきます。
	評価と課題	集団回収は、資源の持ち寄り対策や、良質な資源の回収がなされるばかりでなく、地域コミュニティの醸成においても有効な施策です。また、町会単位で実施している団体については、集団回収の謝礼金としての報奨金が団体活動に有効に使用され、地域社会の形成に役立っています。区民による自主的なリサイクル活動は、ごみの減量や資源化を推進していくには欠かせないものですが、団体の高齢化が進み、一部の人に事業実施の負担が偏ることもあり、適切な支援のあり方について引き続き検討していきます。

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input checked="" type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更
	集団回収事業については、町会単位の回収から集合住宅の管理組合・PTAや小規模団体などに働きかけたり、報奨金支給などの支援のあり方を検討し、回収量の増加を図っていきます。コンポスト・生ごみ処理機の助成については、補助の必要性・有効性を見極めてながら行っていきます。また、生成された堆肥の活用方法を検討する必要があります。		

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		レジ袋有料化推進		款	6	項	1	目	3	事業	9	整理番号	467						
担当部課名		環境清掃部環境都市推進課		係名	計画調整係			連絡先電話番号	3734		昨年度整理番号	464							
上位施策No・施策名		17 ごみの発生抑制及びリサイクルの推進		予算事業区分								既定事業							
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	20	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	1	政策番号	3	施策番号	1	事業コード	2	<input checked="" type="checkbox"/>	行革計画事業	<input type="checkbox"/>	主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 区民・事業者等																	
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	○区・区民・事業者が協力連携し、レジ袋有料化等の方法により区内で使用されているレジ袋を削減します。																	
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）	○「杉並区レジ袋有料化等の取組の推進に関する条例」の対象事業者に対し、「レジ袋有料化等計画書」「レジ袋有料化等結果報告書」の提出依頼を行い、マイバッグ等持参率60%の達成に向け指導等を行う。 ○条例対象外事業者からのレジ袋削減に関する取り組みの申し出に対し、支援を行う。																	
根拠法令等		(1) 杉並区レジ袋有料化等の取組の推進に関する条例 (2) 杉並区レジ袋有料化等の取組の推進に関する条例施行規則																	
活動指標名(式)		(1) レジ袋有料化実施店舗数 (2) レジ袋削減推進及びマイバッグ持参推進活動回数																	
成果指標		※(代)＝適当な指標がない場合の代替指標																	
成果指標名(1)		条例対象事業所のマイバッグ等持参率																	
算定式・指標の説明等																			
成果指標名(2)		マイバッグ等持参率が60%を超えた店舗数																	
算定式・指標の説明等																			
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %								
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績										
指標	活動指標(1)	①	店	37	60	39	60	40	60	66.7									
	活動指標(2)	②	回	20	30	34	40	42	40	105.0									
	成果指標(1)	③	%	32.0	60	33.3	60	29.2	60	48.7									
	成果指標(2)	④	店	44	60	49	60	49	60	81.7									
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	2,472	5,439	3,960	4,884	1,577	3,408	22年度予算執行率%		32.3							
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項									
	(内)委託費	⑦	千円	73	218	132	340	289	319										
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	2.07 0.00	1.50 0.00	1.85 0.00	1.50 0.00	1.85 0.00	2.20 0.00	○レジ袋削減の啓発活動は活発に行いましたが、啓発用品の種類を整理するなどして平成22年度の支出を削減しました。その実績を踏まえ、平成23年度予算は啓発方法を見直すことで、予算を縮小しました。 ○成果指標(1)の条例対象辞表所のマイバッグ等持参率及び成果指標(2)のマイバッグ等持参率が60%を超えた店舗数について、平成22年度実績が確定するのは8月になります。									
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	18,734	13,319	16,426	13,380	16,502					19,624					
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0										
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	21,206	18,758	20,386	18,264	18,079	23,032										
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	573,135	312,633	522,718	304,400	451,975	383,867										
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0												
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0												
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0													
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0													
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0										
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	21,206	18,758	20,386	18,264	18,079	23,032										
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0											

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 467

22年度の事業実施状況	内容	規模	単位		事業費(千円)
			単位	事業費(千円)	
(1) 主な取組み	レジ袋有料化推進及び削減取組用ポスター作成・配布	26,000	枚		193
	レジ袋削減取組用啓発物の作成配布	12,000	個		899
	レジ袋有料化推進用ポケットティッシュの作成配布	5,000	個		160
	その他 ()				325
(2) 事業実績	マイバッグキャンペーンや区内でのイベント、学校行事などで啓発活動を活発に行いました。事業者説明会を開催し、意見交換を行いました。				

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)
	(3) 協働等の形態 協働[その他]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	○マイバッグ等持参率60%に達した区内店舗数 44店舗1商店会(平成20年度) 49店舗1商店会(平成21年度)
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	レジ袋有料化等の手法によるレジ袋削減の取組に対して、概ね区民の理解と支持が得られていますが、レジ袋をごみ袋として利用している一部の区民から、レジ袋有料化に反対する声があります。
	今後の予測	経営上の理由から有料化の取組を変更する事業所があり、また、対象事業所の約8割を占めるコンビニエンスストアの平均持参率は30%未満となっており、条例の目標である60%達成は厳しい状況です。
評価と課題		10年間の取組の中で、レジ袋削減を通じて区民の環境意識が高まりました。また、条例を施行し、事業者の有料化の取組により、目標を達成した事業者は増えてきています。一方、条例対象事業所の8割を占めるコンビニエンスストアのマイバッグ等持参率は30%未満となっていることもあり、マイバッグ等持参率は大きく伸びていません。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ○ 現状維持 ● 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更 ● 実施方法の変更
<p>平成14年からレジ袋削減の取組を始めて10年が経過します。この間の取組でレジ袋削減を通して循環型の社会をつくって行こうとする区民・事業者の意識は高まってきました。平成20年度には条例を施行し2年が経過しましたが、条例の目標達成は厳しい状況です。また、この間に「容器包装リサイクル法」の改正やレジ袋をはじめとするプラスチックの資源回収が始まるなど、ごみの減量として取組んできたレジ袋削減をめぐる状況は、取り組み当初と異なってきています。10年間に費やしたコストも大きく、費用対効果の面からも今後の進め方について検討していく時期にあると考えています。</p> <p>具体的には、これまでと同じようにコストをかけて啓発活動を行っていくことについては一部見直しし、一定規模に財政規模を縮小するとともに、レジ袋削減取組の優良な事業者を区民に広く周知するなど必要な啓発活動を実施し、条例の運用を図っていくこととします。</p>			

特記事項	平成23年度計画数値は、平成23年度から実施する「マイバッグ推進」についても計上してあります。
------	---